

スギマルカイガラムシ

イチイやトドマツなど針葉樹の葉につくカイガラムシ。円形～楕円形の貝殻状，最大径3 mm。灰色からうす茶色で中央黄色。実害はほとんどないようだが，多発すると葉が黄色に変色したり枯れる。土ぼこりのかかる場所や風通しの悪い場所で多発する。



1. 幼虫。2001/5/8。美唄市，庭のイチイ。

【学名】 *Aspidiotus cryptomeriae*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) ， マルカイガラムシ科 (Diaspididae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州；サハリン，朝鮮，台湾。

【生態】

宿主：イチイ，イヌガヤ，トドマツ，モミ，ツガ，エゾマツ，トウヒ，クロマツ，スギ，ビャクシンなど。

札幌辺りでは成虫が6月に出現する。卵は7月上中旬に孵化する。幼虫で越冬する。北海道では年1回発生のようなのである。

形態および生態に変異があり，北海道から東北のイチイなどに寄生するタイプ，東北以南のスギに寄生するタイプとカヤに寄生するタイプに分けられるようである。

【被害と防除】

道内ではイチイとトドマツで被害が記録されている。多発すると葉が部分的に枯れる。被害による樹勢の低下や枯死は知られていない。

土ぼこりのかかる場所や風通しの悪い場所で多発する。地面に近い葉に多い。

防除は普通必要とされない。気になるときは土ぼこりを防いだり，通風をよくして予防する。

【文献】

1980. 河合省三. 日本原色カイガラムシ図鑑. 全国農村教育協会, 東京. (分類, 形態, 寄主の解説)

1994. 河合省三. スギマルカイガラムシ. 小林富士雄, 竹谷昭彦編集, 森林昆虫, 総論・各論: 415. 養賢堂, 東京. (形態, 生

態の解説)

1996. 尾崎研一. イチイに新たな害虫イチイカタカイガラムシ. 森林保護, 256 : 41-43. (生態の報告, 他のイチイのカイガラムシについても解説)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

スギマルカイガラムシ kaigara/sugimaru/
kaisetu.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/1/27.
musi.JPG

「写真1」原秀穂, 北海道立林業試験場, 2000.